

第19回日本糖尿病教育・看護学会学術集会

日時：9月20日(土)・21日(日)
会場：長良川国際会議場・岐阜都ホテル

テーマ：長軸のコントロールを支援する知と技「聞くまなざしと語るまなざし」をふまえて

プログラム：会長講演「人生と病いの長軸のコントロール」黒江ゆり子(岐阜県立看護大学)／招聘講演1・2「糖尿病のある生活における人々のこころの動き(仮)」糖尿病におけるこころの継続的ケアの在り方(仮)「ケティ・ワインガー(ジョスリン糖尿病センター、ハーバード大学)／教育講演1「心のメッセージを聴く」池見陽(関西大学臨床心理専門職大学院)、2「糖尿病食事療法の最近の話題(仮)」津田謹輔(帝塚山学院大学人間科学部食物栄養学科)、3「糖尿病とともに生きる——対話から希望へ」山田憲一(山田憲一内科医院)

／シンポジウム1「長軸のコントロールを支援する知と技——語りを聴くことの意義」畑中あかね(医療法人医誠会医誠会病院)、米田昭子(山梨県立大学看護学部成人看護学)、白水真理子(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科)、2「糖尿病透析予防支援——2年間の実績から」小江奈美子(国家公務員共済組合連合会 浜の町病院)、岡美智代(群馬大学大学院保健学研究科)、柳井田恭子(川崎市立井田病院)

事前参加受付：5月15日(木)～7月24日(木)

第34回日本看護科学学会学術集会

日時：11月29日(土)・30日(日)
会場：名古屋国際会議場

メインテーマ：看護ケア学の構築を目指す——研究成果を臨床へ
プログラム：会長講演「看護ケア学構築へ向けての展望」鎌倉やま

い(愛知県立大学)／特別講演 I「看護ケアを科学する方法論の構築——褥瘡ケアの体系化を目指して」真田弘美(東京大学)、II「行動の原理からみる看護環境のアレンジ」坂上貴之(慶應義塾大学)／教育講演 I「ケアの効果を測定するシングルケース研究法」井上雅彦(鳥取大学)、II「脳卒中患者の背面開放座位ケアプログラム——開発・還元・定着のプロセス——そして課題」大久保暢子(聖路加看護大学)／シンポジウム I「実践の課題を研究へ——看護ケアプログラムの開発」、II「看護ケアプログラムのイノベーションに向けた方略」／ワークショップ、一般演題、交流集会、市民フォーラム、ナース・サイエンス・カフェなど
参加費：(～10/3)会員 10000 円、非会員 12000 円
(当日)会員 12000 円、非会員 14000 円学生、3000 円

展覧会のご案内



園家文苑・心書展 2014. 4.25～4.30 漢字がこんな感じになりました。心書「一」

園家文苑・心書展

2014年4月25(金)～30日(水)12時～19時(25, 26, 27日作家在廊)

@ PETER'S Shop and Gallery

東京都渋谷区神宮前 2-31-18 Tel. 03-3475-4947

弊誌巻頭ページで『心一文字』を書いていた園家文苑さんの展覧会をご紹介します。

テーマである文字を「文字の心」「作者の心」「見る側の受け止める心」の3つの心を重ねて描かれた“心書”は、園家さんのオリジナル。弊誌の誌面から離れて広い空間で見る“心書”は、きっとより魅力的だと思います。ぜひとも足をお運びください。(本誌編集室)

